

第5回 よどがわワイガヤ推進委員会 議事要旨

日時：令和4年6月24日（金） 午後7時00分～午後8時30分

場所：淀川区役所 5階 会議室

出席者：

【委員（五十音順）】

小椋委員、窪山委員（WEB）、櫻井委員、佐々木委員、土井委員、乃美委員（WEB）、増田委員

【事務局】

（淀川区役所）大橋政策企画課長代理、大西政策企画課担当係長、中島政策企画課担当係長、

内容：

1. 第3回淀川河川敷十三エリア魅力向上協議会の内容について（報告）
 - ・将来イメージとして「こどもから大人まで多様なひとが自然に集い・・・」とありこれが達成したい姿とすれば、現在の子供の利用者数や、大人の利用者数が必要と思われる。また、年間5万人の目標に達したかの施策を評価するためにも現在の利用者数を把握しておく必要があると思われる。
2. 3D都市モデルの映像
 - ・河川敷へは、階段のみ？点字ブロックを引いたりするのか？
⇒河川敷へは、階段とスロープが予定されており、スロープについては、車両が通れる道幅になると聞いている。点字ブロックはないかと思われる。
 - ・河川敷の手前の道路に信号機をつけるとか検討できるのか。結構、車がスピードを出すので危険な場所である。
 - ・西中島地区での事案の紹介になるが、河川敷の利用について、キャンプ利用者と一般利用者のエリア分けの境目がなくなったため、キャンプ利用者が、日常を忘れてゆっくりしようとしている近くで、一般利用の方が水遊び等で騒ぐ状態があり、苦情やトラブルになっているので、キャンプ利用者と一般利用者のエリアを分けるとか考慮が必要と思われる。
 - ・河川敷は、イベントの利用のみで平日は静かに過ごしたい人の利用とかはないのか？
⇒マーケットサウンディングの中で、平日の日常的な利用は、堤防うらのり面のオープンカフェ等を設置して利用してもらい、多目的空間は、イベント等で利用するといった提案があった。
 - ・多目的空間の芝生は、最初は国が整備してくれると思うが、その後、管理をどうするのかの検

討が必要で、他でもイベント等を実施するが、芝生が傷む。キッチンカーを多目的空間に入れてイベントを実施するときは、車を置くのを芝生の上には置かないとかの考慮が必要。自転車での通行も気を付ける必要がある。

3. 淀川河川敷の防災拠点としての利用について

- ・備蓄倉庫になると堤防に倉庫を置くことになると思われるが、何を保管しておくのか？
- ・どういう種類の災害をイメージしているのか
⇒水防拠点としての利用を想定している。
- ・大阪府北部地震で、高槻ではライフラインの復旧基地として使った
- ・水防でない災害に対しての利用であれば、充電できる基地、ソーラーで発電、避難所、電気や水があると便利
- ・防災について、学びながら体験できるイベントがあればいい
- ・リスクのある場所だからこそ、体験できる施設があればいい。例えば「土嚢をつくる体験」「水をろ過する体験」「50 cmの水でもドアが開かない」等
- ・備蓄物資をそろえるのに時間がかかってもいいのであれば、イベントで土嚢を作ってそれを保管する。
- ・水をろ過する機械のある施設で、災害時の水の供給ができる場所にする。
- ・水以外の災害で河川敷に危険がなかったら、避難所として河川敷を利用することも想定され、車で寝泊まりすることも考えられる。その訓練も兼ねて、車でみるシアターとして利用することで、日常的に河川敷で車を利用する。
- ・防災の体験として仮想現実（VR）で、水が押し寄せる映像を見せる（神戸市で実施）

4. その他

«淀川河川敷の新北野方面について»

- ・河川敷で少年野球とかグラウンドとして利用しているがそれが無くなるのか？
- ・東口側は、いろんな人が歩いたりするところで、西側は、市民がグラウンドとして使っているものと思っていた。
- ・国が整備とかしているわけではなく、グラウンドとして使い始めてそれが続いている状態で、それがなくなることはないのでは。
- ・賑わいとは？ 賑わいの定義づけを丁寧にしないと、議論が変な方に進んでしまう、昔からいる人には賑わいがなくなったと思っていても、新しく来た人はそうは思っていないかもしれない。時代に合わせてニーズが変わり、街が変わってきている。
- ・吹田市で、「健都レールサイド公園」[吹田市 | 健都レールサイド公園 \(city.suita.osaka.jp\)](http://city.suita.osaka.jp)がある。細長い公園で、「土の広場」「みどりの広場」「健康増進広場」とゾーン分けされている。淀川河川敷も一体的な公園として、東側も西側も取り組んでいければいいと思う。時間はかかると思うが……。こんな公園だったら毎日利用したいと思う。
- ・十三は、道として東西に分断されているので、行き来がしづらい面もあるが、両方で盛り上がっていただけだなという声も聞いているし、河川敷の東西の行き来をしやすいようにしてほしい。また、十

三バイパス耐震工事後の空間がどうなるのか。駐輪場としての活用が有効だとは思いますが、淀壁とかアート系が盛り上がってきているので、ギャラリー等の利用を優先することとかできないかなと思う。

・噴水とかあってもいいと思う。

・十三から新北野に河川敷からいくには、高架下をくぐって、草むらを通り、グラウンドを超えて新北野の船着場に行くことになる。グラウンドをなんとかしようと思ってもめると思われる。

・河川敷内の道は、整備してほしい。

・田川から西淀川への遊歩道みたいなイメージ、大野川緑陰道路みたいになつたらいいと思う。

・河川敷に新たなメインストリートをつくるくらいの気持ちで

・10年後の十三のシミュレーションがあるのか？

・人口の推移や環境の変更など、カーボンニュートラルとか EV とかは当然として、確実な未来を織り込んでの将来のシミュレーションがいるのでは、そういう議論をワイガヤ委員会できたらいいなと思う。

«その他»

・河川敷の賑わいで、始まりは芝生も整備できて堤防の店もできてから一斉にフルオープンとするのか。そうした場合、西中島での事例で、コロナでバーベキューを実施していなかったときは、自由に使えていたのに、バーベキュー場をオープンしたら使えなくなったという苦情になったので、河川敷を利用されている方に、少しずつイベントなどをして認識してもらおうほうがいいと思う。

・賑わいで十三を訪れる人の想定が、阪急電車で「十三」にくる人ばかりでなく、自転車で訪れる人もいると思うが、十三には自転車をとめる駐輪場がないので、自転車を止める場所の確保が必要と思われる。グランフロントとかであれば、地下に駐輪場がある。